

グリーン社会協創機構 地域防災減災センター

概要

信州大学は地域の防災減災をリードする専門家として、さまざまな災害の調査研究、防災減災教育に積極的に推進してきました。そして、これらの活動を通して、高等教育研究機関として地域の防災減災に貢献しうる多くの知恵や資源を培ってまいりました。こうした信州大学の力を組織的恒常的に活用し、地域の防災減災を強力に推進する中枢機関として活動しています。



事業内容

信州大学では、長年にわたり防災減災に関する先進的な取り組みが数多く行われてきましたが、多くは研究者個人あるいは研究室での対応に依存するところがあり、活動スケールにも限界がありました。そこで、隣接関連分野の研究者だけでなく、「防災研究」を核とした異分野研究者間の橋渡しを目的とするとともに、地域の防災減災活動と連携する信州大学の総合窓口として2015年4月にセンターが開設されました。

災害の要因となる自然のメカニズムを解明することは防災学を発展させるために必要不可欠です。しかし近年は災害の多様化や潜在化が顕著になっており、災害をゼロにすることは困難な状況です。そのためこれまで以上に研究成果を発信し、研究者と市民の相互理解を深めていくことの重要性は増しているとともに、防災意識をさらに高めていくことは切迫した課題となっています。

本センターでは、産学官の協力のもと自治体またマスコミと協同し適切な情報提供をしていくと共に、共同プロジェクトや出前講座など幅広く、信州の防災・減災に向け取り組んでいきます。



▶▶▶ 推進体制

これら四部門と連携教員が一丸となりそれぞれ高い専門性と地域防災に貢献するという志をもちながら、県内各地において様々な活動を行っています。

1	センター長 (人文学部)	教授	菊池 聡	認知心理学、教育心理学
2	副センター長 / 医療支援部門長 (医学部)	教授	今村 浩	救急医学、集中治療医学、循環器病学
3	防災教育部門長 (教育学部)	教授	廣内 大助	地理学
4	防災減災研究部門長 (繊維学部)	教授	若月 薫	熱工学、火災工学、実験工学、赤外線分光、安全衛生
5	地域連携部門長 (工学部)	教授	吉谷 純一	水資源、防災
6	グリーン社会共創機構 地域防災減災センター	特任助教	神田 孝文	産学官連携（地域連携）防災士

▶ 信州の防災学（防災士資格推奨科目）

本講義は、信州大学の研究成果を防災減災に活かすとともに、防災・減災に対する意識や知識を持つ学生・教職員を育成し、「いざ」という時に地域・社会の防災減災に貢献するために実施するものです。そのため、学部を超えた多様な教員・学外の専門家によるオムニバス形式の授業を展開するとともに、希望者には各教員等が地域で取り組む活動にも参加する機会を提供し、多角的・実践的に信州の災害や防災を学ぶことを目指しています。なお、本学は令和5年4月に日本防災士機構より、「防災士養成研修実施認定機関校」の認証を受けました。そのため、本講義は「防災士」資格取得のためのカリキュラム（講義、救命救急、資格試験）と連動しています。



「HUG」（避難所運営ゲーム）ワークショップ

▶ 研究支援（信州における防災減災プロジェクト 支援事業）

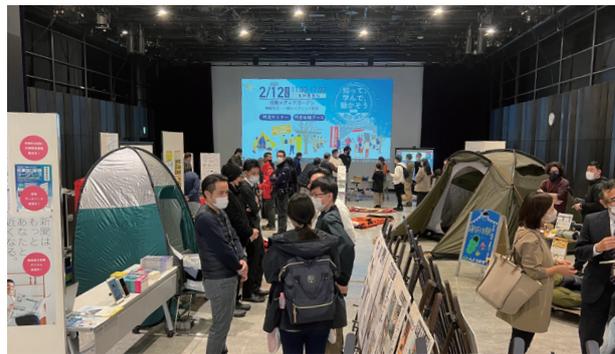
- ・アウトドアブームにおける焚火からの火災防止に資する火の粉捕集シートが持つべき技術要素・仕様の検討
 - ・令和元年東日本台風における要支援者の災害対応行動の分析と課題の発信
 - ・令和元年東日本台風時の住民避難行動分析
 - ・流水に強い耐水害住宅の研究開発
 - ・粒状人造黒鉛を添加した新たな舗装材料の熱伝導率の評価と道路の融雪・凍結防止への応用
- * 詳細は HP を御覧ください。

▶ 主なシンポジウム・市民講座・展示会（2022年度）

- ・「知って、学んで、動かそう」 防災減災
 - ・白馬で知る・学ぶ「いま」の防災減災「防災グッズ」
- * 他、詳細は HP を御覧ください

▶ メディア

- ・Jのコラム（SBC ラジオ毎月第1金曜日）（ラジオ）
 - ・あしたを守る 信州の防災・減災 ほか（テレビ）
- * 他、詳細は HP を御覧ください



「知って、学んで、動かそう」 防災減災 in 松本

▶▶▶ 問い合わせ先

信州大学 地域地域防災減災センター

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

TEL 0263-37-2064 / FAX 0263-37-2076

MAIL d_map@shinshu-u.ac.jp

URL <https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/bousai/index.html>



グリーン社会協創機構



地域地域防災減災センター